

支那單語
引合はないと云ふこと
を不台算でブーホース
を、商賣が盛んであ
るは買賣興旺でマイ
インワン、商賣は不
景氣は市面蕭索でシ
ミンエンシアオン、預金
は存銀子でツインツ

縣に先立つ切符制

平市の砂糖配給

市役所から出る切符に基き
一人當半斤(八十匁)づゝ

砂糖の需給事情が實質以上の(匁)づゝを即時賣出される管
不圓滑なるものは販賣機
で今日午前市長室に左記四
構とも欠陥あるを認め切符制
を實施することになったこと
は既報したが平市では右に對
する縣の實施に先き立ち砂糖
小賣商組合が自發的に現在品
を切符制によつて賣出すべく
昨日理事會を開き配給を人
員に割當て平市の分約二百俵
を市役所から發せられる切符
に基づき一人當半斤(八十

平市警防團後援會へ

また新たに七千二百圓寄附
平市警防團後援會がポンプ購
新に左記七千二百圓の寄附
入費その他に三萬圓を目標と
して副會長大谷武雄市議が専
ら同資金造成に盡力されてお
ることは既報の如く此の企て
に對し市内特志者から異常な
賛意を迎へてゐるが最近また

勿來時の功勞表彰

馬目書記時の鐘つき六年半
第二十一回の時の記念日を迎
へた今日、生活改善中央會
は全國の同運動功勞者を表彰
するものをはじめ各地夫々記
念の催あつたが石城郡勿來町
では書記馬目武助氏(宅)を表
彰した、同氏は昭和九年一月
十四日以降今日まで六ヶ年半

目氏が發起で縣議赤津庄兵衛
氏等の寄附により再建したる
功勞者である

平市の 行政區長會

十三日議事室で
平市では来る十三日行政區長
會を市會議事室に開催、青沼
市長から過ぐる縣下の市町村
長會に於ける知事が訓示を傳
役所に開催される事になつた

遅れたが好漁の鯉 本縣沖は下旬頃か

目下の漁場は野島から銚子沖
小名濱の水揚八萬八千圓

中野家に於て 更に卅圓寄附

平市大町中野勇吉氏が今次事
變に於て名譽が戦死を遂げた
息曹長曹長の遺志により去る
六日の市葬執行に先き立ち市
の統後奉公會へ金七十圓のほ
か各種團體を合せて二百圓を
寄附されたことは當時報導の
如くであるが同家では更に平
市國防婦人會支部第二分會へ
金三十圓(支部へは別に寄附)
を寄附されたので久野分會長
から感謝状を贈つたが此の特
志に對し會員一同感激してゐ

地下問題の態度 決定委員會

十二日市役所で
平市地下探掘問題の委員會
に於ける調査研究は既報の如
くであるが斯界權威者の語る
もの並び委員の實地踏査等を
重んじたので愈々最後の態度を
決する委員會は来る十二日市
役所に開催される事になつた

商家側が醜金し 勤勞奉仕代り

植田町に於ける商家及び勤め
人五百餘名は出征軍人家庭が
農繁期の手下足に困つてゐる
ものに對し勤勞奉仕が出來ぬ

戰地の便り

只今は山西の一角
〇〇城に居ります

齊藤 正二
平市南町出身

代りにと各二十錢づゝ百餘圓
を集めて人夫賃を贈り尚ほ加
部寄附會で申合せこれを實行
里肥となる石灰を各家庭から
してゐる

拜啓、春甜はなりしも何時
しか去りて山も原も初夏の
爽やかさを告げて居ります
統後は一同様には御變りも
ございませぬか、お別れ致
しまして以來當方多忙に打
まぎれ御無沙汰いたしました誠
申謝がございませぬ、小生
只今居ります所は山西省の
一角〇〇城です、愈々皇軍
の努力も効を奏しまして最
近は全く治安が成り日本人
も支那人も同居同權の平和
郷となりました、恰かも柳
の新芽がすくすくと伸びて
ゐると同じやうな清々し
さです、郷土平市も餘程か
わりましたでせう、大平市
を目指しての發展途上にあ
るを北支の一端より遙かに
御敬び申上げます、それに
また國防婦人會、青年團、
愛國婦人會、在郷軍人分會
その他の統後の爲めの御活
動を承り小生等戰地にあり
ものゝ氣持ち一層びきしめ
られるのを感じます、小生
幸ひに出征以來一ヶ年半に
なりますがまだ微傷だに負
はず引續いて御奉公の出來
ますことはこれ偏に皆々様
の赤誠こめた御祈願による
神佛の御加護と感謝いたし
居ります、今後一層奮勵の
たし御期待に副ふべく決心
でありますから御安心下さ
るやう、また皆々様も郷土
の發展のために御努力なさ
れんことを御願ひ致します
先づは亂筆にて、早々

運搬夫落磐壓死

石城郡好間村の古河炭礦運搬
夫中野末三(三)は去る七日午
前零時十分頃坑内捲上げ場
で作業休みに附近坑内で寝てお
た上部が落磐即死した

藤田女校の修旅

江の島所感 本科A E 生
長谷から電車にて江の島口に
着いた、快い潮風を身に受け
ながら新緑の江の島に向ふ、
橋の中に記念撮影をした、
左に七里ヶ濱を見て昔の傳を
偲びつゝさぬき屋旅館に着い
た、手荷物を置き輕装にて旅
館を出た、兩側に立並ぶ賣店
には此の地にちなんだ貝細工
などが澤山飾つてあり、私達
の眼を珍らしく感じさせた、
近道を通つて険しい絶壁の小
路をたどつて同宿を手探りで
下り、岩屋を拜し、磯邊に下
り、打ちつける紺碧の波濤

初夏の旅

落磐で坑夫即死

還曆に恤兵献金

渡満の旅から

新妻善吉

汽車の疲れを船で醫すと云
ひますが、海へ平穩でした
に實際その通りです、船も相
當満員でしたが結構体を横へ
る餘裕がつき好く安眠が出来
ました、前日の疲勞を幾分此
處で回復した譯です、有名な
あの玄海灘に差し掛つた頃体

夫同坑會宿所下坂留造方町田
勢二(三)は去る七日午後八時
五十分頃坑内で作業中落磐
に遭つて即死した

は幾つもの渦を巻き底深く澄
んで物凄感を感じ、海
上小舟の數々帆に風孕せて漕
ぐ手いと輕く舟、入舟、遙か
に霞にまぎれた連山をバック
に眺め入である、三浦半島
右にかすかに見えるは伊豆の
山々か、晴れた今日、富士の
雲峰を太平洋に探し求めたが
見當らない、霞に紛れて姿を
隠したのであらう、裏手の汀
で奇岩と喬松を背景に記念の
撮影をした、島の高所には數
々の料亭がある、相應しい宿
士見樓、魚見樓、金波を見下
りに山と崎々を遠見、折からの
霞に眺望佳絶、眞に天下の絶
景である、店先に居並ぶ客呼
ぶ乙女達の容姿も調子も井蛙
の私達には一種の奇觀です、
眞赤な大鳥居、高い石段の江
の島神社も参拜した、線滴る
森に囲まれた幾多の名ある宮
にも頼いた、江の島は景勝の
地だ、神社の島だ、森と水の
遊覽の所だ、この島に遊ぶも
のは男女を問はず必して自然
の風致保勝の義務があると思
つた、一巡り一時間半、私達
は心ゆくまで初旅の第一日こ
の島に學んだ、後七時海洋に
漕れ行く落日を靜かに望見し
乍ら初日の夕食膳についた。

を赤帽に托し急ぎ列車組成フ
オームに足を走らせたが時既
に遅く先客にて殆んど満員の
姿、大いに失望しました、然
し辛ふじて腰掛を見出しやつ
との思ひで腰を下す事が出来
幸ひでした、奉天着は明朝午
前七時〇五分、丸々一晝夜乗
らねばならぬ、又々東海道線
の二の舞を演ずる事が慣れぬ
長途の旅でもあり妻や孫の身
上も思ひやられて心配でなり
ませんでした、途中乗客は益
々増加する一方京城あたりか

を少し前後に落ちた程度で
船中一人の船酔ひもなく誠に
平穩な航海でした、午前六時
釜山に上陸、釜山發奉天行急
行は午前七時五十分、時間の
余裕も充分なし直ぐ乗換へ優
先座席を占め車中で發車時間
を待つ方が得策と考ひ荷物

を全くとすし詰め状態となり洗
面所迄つしり立錐の余地な
く便所へも行けぬ有様、眞に
婦女子達には氣の毒に思ひま
した、列車は廣軌ですから内
地のよりは大型です、然し車
内は誠に蒸氣な構造で不潔此
上もありません、釜山：奉天
間に於て一回の掃除も行はず
辦當敷や果物の皮で汚濁く散
亂し全く足の踏場もない有様
で其上室内には異様な臭氣が
漂つて居ります、當局者の反
省を促したい、



パラフィン代用
果樹の袋掛

この三種を各五十袋づゝか
けて被害果實の状態を檢した
ところ、

袋の種類 被害個數
パラフィン 一一二
明礬石鹼液 一四五
無礬紙 四五

の事實を示した、即ちハトロ
ン紙をパラフィン紙代用とし
て使用する場合は明礬石鹼液
に与へたものがそのまゝのも
のより絶對的に効果がある
ことを如實に證してゐる、ハ
ترون紙を用ひず新聞紙等を
代用する場合においても明礬
石鹼液の效果は多分にあるも
のと豫想されるのであるが實
験の結果がないので數字的の
證言に持合せがな、

これは五月末から六月で
ける降雨量、空氣湿度の關係
がこれに影響するものと思は
れるが、一概には云へない、
然し兎も角パラフィン紙代用
としてはこのハترون紙に明
礬石鹼液塗布を推奨にしてよ
からうと確信する、なほ以上
はハترون紙小袋の場合であ
るが、従來小袋の後に取換へ
て使用するパラフィン紙の大
袋はワックスを塗つたものを
使用してゐるがこの大袋をハ
ترونで代用する場合におき
ても明礬石鹼液を塗ることは
病害防止の目的を達すること
とはおぼろかである、

なほ普通行はれてゐる明
礬石鹼液の製法は石鹼を十
五外としてゐるが同大字で
は前記の如く石鹼の量を倍
の三十外として効果顯著な
るを認めた(完り)

肉の御用命は

三三三屋

牛も豚も優良品の自慢



内科、小兒科

大森醫院

醫學士 大森 勇

入院
應需

平市南町 電二五八番

不思議の妙藥

ニコチロン 一瓶を
含嗽劑

是非御使用を御勧め致します

山野邊藥局

夏の洋服と帽子

夏の晴雨兼用傘

平市四町目
つるや
電話一四〇



萬年筆は専門
店より求めよ

Y1-50.00

債券、公債
両替、金融
多田井質店

平市大工町 電話五九一番



國民精神總動員

日本國民必見の書……

内閣情報部發行

寫眞週報

1部10セン

お取次ぎして居ります

西村屋藥局

診療科目

一、齒科一般

保存科、補綴科、總架工科、
齒列矯正科、小兒科、齒槽膿漏科、

一、口腔外科

一、レントゲン科

平市田町(松月堂向と)

中野醫院

院長 日本齒科醫學士 中野 慈次
日本醫學士 藤谷 伍郎
主任 佐藤 重義

根本
婦人科醫院

根本 莊次郎
根本 貞雄

(入院隨時)

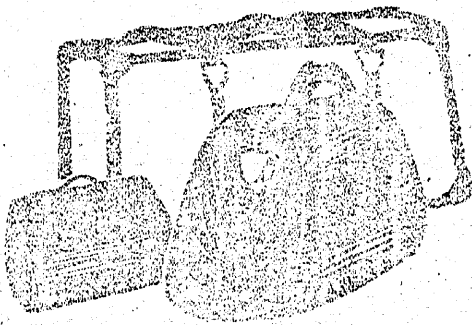
電話三四番

平田町(三丁目長川岸通)

明雲堂醫院

入院應需(自然の便あり)
電話六六九番

カバトン洋品類



平市(前驛) 眞砂屋
電話五六

内科、小兒科
外科、花柳病科
耳鼻咽喉科
レントゲン科

高久病院

院長 醫學士 高久 忠

帝國海上保險株式會社

平代理店 關内正一郎
事務取扱者 阿部助次郎
平市三丁目 電話二六番